

青島エリアの活性化に向けたトライアル・サウンディング 結果概要

1 目的

本市における観光の中心である青島エリアでは、近年、一部で大規模な民間開発が進み、直近の地価公示では県内で最も高い上昇率を記録するなど、活性化の機運が高まりつつあります。その一方で、エリア内には未だ有効活用されていない公有財産が多数残されており、エリアが持つ本来のポテンシャルを十分に生かしきれていないという課題も抱えています。

そこで市では、エリア内に点在する公有財産を対象として「トライアル・サウンディング」を実施し、今後の青島エリアのさらなる活性化に繋がる利活用の可能性を探ることとしました。

2 対象地

- (1) 青島駅前通り・東口駐車場
- (2) 白浜海水浴場




3 実施スケジュール



実施要領公表	令和7年7月9日
暫定利用申込期間	令和7年7月9日 ~ 令和7年9月30日
暫定利用期間	令和7年7月23日 ~ 令和7年10月31日

4 主な暫定利用実績

(1) 青島駅前通り

事業概要	「青海街市」開催時間におけるモバイルファニチャーの設置 (屋外ソファ・テーブル3セット)
目的	モバイルファニチャーにより快適な滞在空間を創出し、青島駅前通りの新たな活用可能性を探る。
実施主体	西尾レントオール株式会社
実施日時	令和7年10月18日(土) 11時から17時まで
結果	<ul style="list-style-type: none">● 今回、パラソル等の日除け対策ができなかったにも関わらず、1日を通して常に利用者がいる状態を保ち、高いニーズを確認した。● デザイン性の高いモバイルファニチャーとすることで、青島エリアのイメージ・景観と調和した上質な公共空間を創出。利用者からも高い評価を得た。● 一方で、日常的に滞在可能な公共空間を創出するためには、通行の妨げにならない適切な設置場所の選定のほか、店舗等の事業主による管理が必要となる。 

(2) 白浜海水浴場

事業概要	旧海の家周辺の空きスペースを活用したバーベキュースペースの提供
目的	白浜海水浴場の通年での利活用を見据え、ロケーションを生かした有料バーベキュースペースの利用ニーズを確認する。
実施主体	株式会社南九州プロジェクト
実施日時	令和7年9月27日(土)～10月26日(日) 11時から17時まで
結果	<ul style="list-style-type: none"> ● キャンプ場運営の延長線上で対応できるため、運営におけるランニングコストはほぼ掛からない。 ● 利用者アンケートによる満足度及びリピート意向を見る限り、長期的に安定した集客が可能であると考えられる。 ● 現状の立地ではプライベート空間にはならないため、実際に事業として進める場合は遊歩道との導線調整や、プライベート空間を演出するための対策が必要。 ● 駐車場は様々な人が利用するため、市民用駐車場と施設用駐車場の線引きが必要。 ● 土地利用に際して様々な制限が付くエリアになっているため、建築物の造成や事業実施についての整理が必要。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>※ 同期間に、白浜ビーチの魅力を広く発信するためのライブカメラを設置 (実施主体：特定非営利活動法人いい波プロジェクト)</p>

5 総括

今回のトライアル・サウンディングを通じて、対象地における公共空間の新たな活用可能性が明らかになりました。

青島駅前通りについては、通りに賑わいを創出し、滞在可能な公共空間を整備する必要性が確認されたため、今後の青島エリアのシンボルロードとしての通りのあり方検討を進める際の参考としていきます。

白浜海水浴場については、その素晴らしいロケーションに対し、高いニーズがあることが改めて確認されたため、今後は、海水浴期間に限定せず、通年での利活用を視野に入れたあり方を検討していきます。

青島エリアのさらなる活性化のため、市では、本調査結果を踏まえ、既存の課題解決や、事業化に向けた法的な制約の整理を進めながら、公有財産の効果的な利活用に向けて検討を進めてまいります。